

桂林耳鼻咽喉科・中耳サージクリニック

札幌市厚別区厚別中央2条5丁目DUO2 4階
☎011・801・4133 <http://keirin-entsurge.com/>

道内唯一の耳鏡下耳内耳科手術 施術者。日帰りで音を取り戻す

梶谷将偉 院長



ますや・まさより / 2006年旭川医科大学医学部
医学科卒業後、道内基幹病院に勤務。10年北海
道大学病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科学入局。そ
の後函館中央病院医長、仙台・中耳サージセン
ター勤務などを経て16年開業。



最新鋭のCT。被曝量は従来の7分の1

側には慢性中耳炎や外耳道狭窄症、耳小骨奇形といった難聴を引き起こす疾患が潜んでいる危

険性がある。これらの疾患に起因する難聴は年齢問わず手術で治る可能性が高い」と話す。通常、適応となる手術は鼓膜・鼓室形成術だが、身体に負担がかかる全身麻酔が必要で、術後2週間程度の入院を余儀なくされることから2の足を踏む人が多い。その点、梶谷院長がおこなう耳鏡下耳内耳科手術は日帰りが可能な全く新しい鼓膜・鼓室形成術。わずか数時間

で聴力を取り戻すことが可能だ。従来の手術では耳の裏側を4センチほど切開する必要があるのに対し、この手術は顕微鏡下のものと耳鏡と呼ばれる特殊器具を使用するため、耳の深部を5ミリほど切開するのみ。手術時間も従来の半分の30分から2時間程度に短縮している。また、局所麻酔を使用するため、術中に聞こえの変化を確認できることも大きなポイントだ。「全身麻酔下では術中に患者に聞こえの確認をできないため、術後の状態が思わしくなければ再手術が必要です。しかし、耳鏡下耳内耳科手術はその場で患者に聞こえの確認をしながら、さまざまなアプローチを試みる



顕微鏡下で精度の高いオペを実施



手術室衛生面に配慮

ことができる。つまり、最善の治療を選択できます。また、心臓や脳に疾患を抱えている患者でも手術が可能です」

梶谷院長は、耳鏡下耳内耳科手術を開発した日本屈指の耳科手術医「仙台・中耳サージセンター」の湯浅涼医師に師事し、技術を習得。道内であた一人の耳鏡下内耳科手術の使い手として、これまでに400例以上を経験してきた。手術費用は保険が適用となり、70歳以上で1万2000円ほどだ。

なお、瀧重成副院長は甲状腺疾患や頭頸部腫瘍に精通。北海道大学病院などで舌がん、咽頭がん、甲状腺がんの治療を経験してきた。「耳」と「のど」のプロフェッショナルによる高度な治療を受けることができる。



甲状腺エコーをおこなう瀧重成副院長